

3 施策・基本事項評価結果

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 01 子育て環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
子ども、子どもの保護者	安心して子どもを産み育てられます。

施策の成果状況と評価

指標①	この地域で子育てをしたいと思う3歳児以下の子どもを持つ保護者の割合 【こども課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
		%	96.5	96.9	97.1	97.0	☀
評価	<p>(状況) この地域で子育てをしたいと思う3歳児以下の子どもを持つ保護者の割合は97.1%で、前年度と比較して0.2ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると0.6ポイント増加しており、厚生労働省が公表している「健やか親子21 (第2次)」の最終評価目標値である95.0%を上回っています。</p> <p>(原因) 乳幼児期の子育て環境について、母子保健事業や子育て支援事業の実施により、保護者がほぼ満足しているためと考えられます。</p>					☀	目標達成度
		☀	(達成)				
指標②	この地域で子育てをしたいと思う4歳から15歳までの子どもを持つ保護者の割合 【こども課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
		%	86.7	-	91.1	➔	☀
評価	<p>(状況) この地域で子育てをしたいと思う4歳から15歳までの子どもを持つ保護者の割合は91.1%で、前回 (H30) 86.9%と比較して4.2ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると4.4ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 各種子育て事業や母子保健事業の実施により、保護者の満足度が向上したためと考えられます。</p>					☀	目標達成度
		☀	(高)				

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 幼児教育・保育の充実

基本事項 02 放課後の居場所づくり

基本事項 03 多様な子育てニーズへの対応

基本事項 04 妊産婦と子どもの健康管理

基本事項 05 家族形成の支援

基本事項01 幼児教育・保育の充実

指標	待機児童数 【こども課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		人	3	28	26	0	
評価	<p>(状況) 令和2年10月1日時点の待機児童数は26人で、前年度と比較すると2人減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると23人増加しており、順調ではありません。内訳は、すべて保育所とこども園であり、幼稚園では発生していません。なお、年度当初の待機児童数は令和元年度は20人、令和2年度は0人となっています。</p> <p>(原因) 子どもの数は減少していますが、核家族化の進行や保護者の就労形態の多様化に伴い、保育所やこども園に子どもを預けたい世帯が増加しているためです。また、保育士不足が深刻化しており、ニーズに見合った人員を確保できていないためです。</p>						<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>

基本事項01 幼児教育・保育の充実

指標	集団生活をしている3～5歳児の割合 【こども課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		%	93.8	97.3	98.3	95.0	
評価	<p>(状況) 保育所やこども園、幼稚園で集団生活をしている3～5歳児の割合は98.3%で、前年度と比較すると1.0ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると4.5ポイント増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 核家族化の進行や保護者の就労形態の多様化に伴い、0～2歳児から保育所やこども園に子どもを預けたい世帯が増加し、3～5歳児においても継続して預けている世帯が増加したためです。</p>						<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

基本事項01 幼児教育・保育の充実

指標	特別保育年間延べ利用者数 【こども課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		人	68,819	49,304	38,557	70,000	
評価	<p>(状況) 特別保育年間延べ利用者数は38,557人で、前年度と比較すると10,747人減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると30,262人減少しておりますが、必要なサービスは提供されています。</p> <p>(原因) 核家族化の進行や保護者の就労形態の多様化に伴い、保育所や認定こども園の2号認定(保育所型)に低年齢の子どもを預けたい世帯が増加し、保育所部門の利用者数が増となる一方、幼稚園及び認定こども園の1号認定(幼稚園型)の児童が減少し、特別保育利用者数が減少したことなどによるものと考えられます。昨年10月からの国の幼児教育・保育の無償化に伴い、この傾向がますます強まっています。</p>						<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>

基本事項02 放課後の居場所づくり

指標	放課後児童クラブの待機児童数 【こども課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		人	14	39	51	0	
評価	<p>(状況) 令和2年度末時点での放課後児童クラブの待機児童数は51人で、前年度と比較すると12人増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると37人増加しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 小学校の余裕教室活用による利用定員の増加により、日高見児童クラブ及び白方児童クラブの待機児童が解消された一方、核家族化の進行や共働き世帯の増加などにより低学年の児童受入数が増加したことで、須賀川一小児童クラブなどの待機児童が増加したためです。</p>						<p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 幼児教育・保育の充実

基本事項 02 放課後の居場所づくり

基本事項 03 多様な子育てニーズへの対応

基本事項 04 妊産婦と子どもの健康管理

基本事項 05 家族形成の支援

基本事項02 放課後の居場所づくり

指標	放課後児童クラブ又は放課後子ども教室を利用している児童の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【こども課】	%	33.4	41.5	42.8	40.0
評価	<p>(状況) 放課後児童クラブ又は放課後子ども教室を利用している児童の割合は42.8%で、前年度と比較すると1.3ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると9.4ポイント増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 令和2年度の児童数は3,974人であり、平成28年度の4,349人 に比べ375人減少する一方、核家族化の進行等に伴うニーズの高まりにより、放課後児童クラブ又は放課後子ども教室を利用する児童数は1,700人となり、平成28年度の1,452人に比べ248人増加しているためです。</p>						(向上) 目標達成度 (達成)

基本事項03 多様な子育てニーズへの対応

指標	子育ての相談をする相手がいない保護者の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【こども課】	%	11.4	-	10.1	→
評価	<p>(状況) 子育ての相談をする相手がいない保護者の割合は10.1%で、前回(H30)11.2%と比較し1.1ポイント低下し、総合計画基準値(H28)と比較し1.3ポイント低下しています。</p> <p>(原因) 家庭訪問型子育て支援委託事業、子育てサークル育成支援事業、家庭児童相談室などの事業を実施していることにより、相談する機会が増えているためと考えられます。</p>						(向上) 目標達成度 (高)

基本事項03 多様な子育てニーズへの対応

指標	子育て支援事業を利用した保護者の数(参考値)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【こども課】	人	28,957	39,870	16,936	32,000
評価	<p>(状況) 子育て支援事業を利用した保護者の数は16,936人で、前年度と比較すると22,934人減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると12,021人減少しており、目標値を下回っています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民交流センターや保育所等で施設の休館や一部利用制限を行ったため、「わいわいパーク」の利用者数が、前年度から25,346人減少するなどしたことが要因と考えられます。</p>						目標達成度 (中)

基本事項04 妊産婦と子どもの健康管理

指標	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【健康づくり課】	%	90.1	88.2	90.6	91.0
評価	<p>(状況) ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合は90.6%で、前年度と比較すると2.4ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると0.5ポイント増加しました。</p> <p>(原因) 妊娠・出産・子育てにおける母親の不安を解消するために、妊娠期からの家庭訪問や健康相談などにより、切れ目のない支援体制が構築されている成果と考えられます。</p>						(向上) 目標達成度 (中)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 幼児教育・保育の充実

基本事項 02 放課後の居場所づくり

基本事項 03 多様な子育てニーズへの対応

基本事項 04 妊産婦と子どもの健康管理

基本事項 05 家族形成の支援

基本事項04 妊産婦と子どもの健康管理

指標	乳幼児健康診査における問診項目（10項目）が全国の直近の平均値を上回る項目数 【健康づくり課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		項目	7	6	8	10	
評価	基準値は、2015（H27）年に取得した数値です。						(向上) 目標達成度 (低)
	(状況) 乳幼児健康診査の問診項目（10項目）が全国の直近の平均値を上回る項目数は8項目で、前年度と比較すると2項目増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると1項目増加しており、順調です。 (原因) 乳幼児健診時の保健指導の成果と考えられます。						

基本事項05 家族形成の支援

指標	婚姻数（参考値） 【企画政策課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		件	314	348	250	→	
評価	(状況) 婚姻数は250件で、前年度と比較すると98件減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると64件減少しています。 (原因) 人口減少社会において、婚姻数は人口の動向に影響を与える重要な要素ですが、全国的に進んでいる未婚化、晩婚化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響が大きな要因と考えられます。						--- 目標達成度 ---

基本事項05 家族形成の支援

指標	初めて子どもを授かった母親の人数（参考値） 【健康づくり課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		人	216	235	184	→	
評価	(状況) 初めて子どもを授かった母親の人数は184人で前年度と比較すると51人減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると32人減少しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、妊娠を見合わせていることが予測されます。						--- 目標達成度 ---

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 02 学校教育の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
児童・生徒、市民	変化の大きい社会に的確に対応できる「生きぬく力」が備わっています。

施策の成果状況と評価

指標	市総合学力調査において正答率が全国平均を上回っている科目数（参考値） 【学校教育課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		科目(%)	9/14(64.3)	2/10(20.0)	-	14/18(77.8)	
評価	(状況)新型コロナウイルス感染症の影響により、県学力調査が実施されなかったため、実績値は取得できませんでした。 引き続き、授業を充実させることにより、基礎学力の定着とともに活用のための思考力や判断力を伸ばすよう、研修体制を整備していきます。 ※令和元年度より、市総合学力調査に代わり県学力調査を実施することとなったため、基準値との単純比較はできません。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> グラフ表示はありません </div>				--- 目 標 達成度 ---	

指標	児童・生徒に道徳性が身に付いていると思う市民の割合 【学校教育課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		%	23.6	-	21.1	→	
評価	(状況) 児童・生徒に道徳性が身に付いていると思う市民の割合は21.1%であり、前回(H30)21.5%と比較するとほぼ同程度で、総合計画基準値(H28)と比較すると2.5ポイント低下していますが、統計誤差の範囲内であり、ほぼ横ばいです。 (原因) 「特別の教科道徳」となり、新たな視点で教職員が指導に取り組み、児童・生徒の道徳性が維持・向上してきていると思われる。また、市内の学校では参観日の授業で道徳を実施し、保護者等に児童・生徒の道徳に取り組む姿勢をみせています。さらに評価を取り入れ、考えなどについて文章表現をさせることにより、保護者の関心も高まってきていることが要因と考えられます。	(%) 				(横ばい) 目 標 達成度 (低)	

指標	全国体力・運動能力調査において全国平均を上回っている種目数（参考値） 【学校教育課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		種目	16	7	-	18	
評価	(状況) 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国体力・運動能力調査の実施は中止となったため、実績値は取得できませんでした。	(種目) 				--- 目 標 達成度 ---	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 確かな学力の育成
基本事項 02 心の教育の推進
基本事項 03 健康増進と体力向上の推進
基本事項 04 開かれた学校づくりの推進
基本事項 05 特別支援教育の充実
基本事項 06 教育環境の計画的整備の推進

基本事項01 確かな学力の育成

指標	国語と算数（数学）が好きな児童・生徒の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
	【学校教育課】	%	64.5	66.2	-	67.5	
評価	<p>（状況）新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力学習状況調査が実施されなかったため、実績値は取得できませんでした。引き続き、授業を充実させることにより、児童生徒の興味関心を引き出せるよう、研修体制を整備していきます。</p>						目標 達成度

基本事項01 確かな学力の育成

指標	小6における国語・算数の正答率が全国平均を上回っている科目数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
	【学校教育課】	科目	0	1	-	2	
評価	<p>（状況）新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力学習状況調査が実施されなかったため、実績値は取得できませんでした。引き続き、授業を充実させることにより、活用のための思考力を伸ばせるよう、研修体制を整備していきます。 ※令和元年度から市総合学力調査を実施しなくなったため、全国学力学習状況調査の結果を参照しています。</p>						目標 達成度

基本事項01 確かな学力の育成

指標	中3における国語・数学・英語の正答率が全国平均を上回っている科目数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
	【学校教育課】	科目	2	0	-	3	
評価	<p>（状況）新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力学習状況調査が実施されなかったため、実績値は取得できませんでした。引き続き、授業を充実させることにより、活用のための思考力を伸ばせるよう、研修体制を整備していきます。 ※令和元年度から市総合学力調査を実施しなくなったため、全国学力学習状況調査の結果を参照しています。</p>						目標 達成度

基本事項01 確かな学力の育成

指標	前年度と比べ授業改善効果が見られた科目数（小5以上の国・算（数）・中2以上の英語11科目中）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
	【学校教育課】	科目	7	-	-	7	
評価	<p>（状況）新型コロナウイルス感染症の影響により、県学力調査が実施されなかったため、実績値は取得できませんでした。引き続き、授業を充実させることができるよう、研修体制を整備していきます。 ※令和元年度より、市総合学力調査に代わり県学力調査を実施することとなったため、基準値との単純比較はできません。</p>						目標 達成度

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 確かな学力の育成

基本事項 02 心の教育の推進

基本事項 03 健康増進と体力向上の推進

基本事項 04 開かれた学校づくりの推進

基本事項 05 特別支援教育の充実

基本事項 06 教育環境の計画的整備の推進

基本事項02 心の教育の推進

指標	1,000人当たりの不登校児童・生徒数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
		【学校教育課】	人	8.6	12.6	9.8	
評価	<p>(状況) 1,000人当たりの不登校児童生徒数は9.8人で、前年度と比較すると2.8人減少していますが、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.2人増加しており、順調ではありません。また、不登校児童・生徒数の内訳は小学校14人、中学校46人の計60人です。</p> <p>(原因) 不登校のきっかけの多くは、学校生活にあると考えられますが、その要因、背景が複雑化し、学校が個々の児童・生徒の要因を的確に把握し、解消することが難しくなっていることが原因と考えられます。</p>						<p>☔ (低下)</p> <p>目 標 達成度</p> <p>■ (低)</p>

基本事項02 心の教育の推進

指標	不登校児童・生徒学校復帰率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
		【学校教育課】	%	20.7	5.0	5.0	
評価	<p>(状況) 不登校児童・生徒学校復帰率は5.0%で、前年度と同じですが、総合計画基準値 (H28) と比較すると15.7ポイント減少しており、順調ではありません。しかし、復帰傾向児童・生徒が10名おり、復帰及び復帰傾向児童・生徒を合わせた割合は16.7%です。</p> <p>(原因) 学校での対応に加えて、「心の教室相談員 (7名)」「スクールソーシャルワーカー (2名)」「緊急時スクールカウンセラー (1名)」を配置し、児童・生徒及びその保護者の話を聞く機会を設けていますが、背景が複雑化し、短期間での復帰が難しくなっていると考えられます。</p>						<p>☔ (低下)</p> <p>目 標 達成度</p> <p>■ (低)</p>

基本事項02 心の教育の推進

指標	児童・生徒が自らに道徳性が身に付いていると思う項目数 (10項目中) (参考値)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
		【学校教育課】	項目	5	8	-	
評価	<p>(状況) 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学習状況調査が実施されなかったため、実績値の取得ができませんでした。学校教育の重点目標に自尊意識を高めることを掲げ、小中一貫教育の中で同一歩調で心の教育を進めていることから道徳性が高まっていると推察されます。</p>						<p>---</p> <p>目 標 達成度</p> <p>---</p>

基本事項03 健康増進と体力向上の推進

指標	肥満児童・生徒の割合 (参考値)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
		【学校教育課】	%	14.0	14.1	15.5	
評価	<p>(状況) 肥満児童・生徒の割合は15.5%で、前年度と比較すると1.4ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.5ポイント増加しており、順調ではありません。小学校5年男子の肥満児童割合が21.7%と最も高く、中学校より小学校で肥満割合が高い傾向にあります。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う様々な活動の自粛・制限により、運動の機会の減少が大きな要因の一つと考えられます。新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮しながら、運動の機会の確保に努めていこう、各学校に指導しているところです。</p>						<p>---</p> <p>目 標 達成度</p> <p>---</p>

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 確かな学力の育成

基本事項 02 心の教育の推進

基本事項 03 健康増進と体力向上の推進

基本事項 04 開かれた学校づくりの推進

基本事項 05 特別支援教育の充実

基本事項 06 教育環境の計画的整備の推進

基本事項03 健康増進と体力向上の推進

指標	運動が好きな児童・生徒の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【学校教育課】	%	55.2	58.3	-	62.0
評価	<p>(状況) 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国体力・運動能力調査が実施されなかったため、実績値は取得できませんでした。</p>						---
		目標達成度	---				

基本事項03 健康増進と体力向上の推進

指標	運動能力の向上を要する児童・生徒の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【学校教育課】	%	22.6	23.7	-	22.0
評価	<p>(状況) 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国体力・運動能力調査が実施されなかったため、実績値は取得できませんでした。</p>						---
		目標達成度	---				

基本事項03 健康増進と体力向上の推進

指標	歯科健康診断で虫歯があると診断された児童・生徒の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【学校教育課】	%	56.9	49.2	46.9	54.0
評価	<p>(状況) 歯科健康診断で虫歯があると診断された児童・生徒の割合は46.9%で、前年度と比較すると2.3ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると10.0ポイント減少し、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 各小中学校における歯科指導の効果が出ているためと考えられます。また、平成29年度より開始した小学校におけるフッ化物洗口の虫歯予防効果が、数字に表れるまでには数年かかるため、フッ化物洗口については継続する必要があります。</p>						☀ (向上)
		目標達成度	🏰 (達成)				

基本事項04 開かれた学校づくりの推進

指標	学校の行事等に参加・協力している市民の割合（中学生以下の子どもを持つ保護者は除く）（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【学校教育課】	%	13.6	-	7.5	→
評価	<p>(状況) 学校の行事等に参加・協力している市民の割合は7.5%で、前回(H30)12.2%と比較すると4.7ポイント低下し、総合計画基準値(H28)と比較すると6.1ポイント低下しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、各学校が学校行事や地域行事等を中止又は参加者を制限して行ったことが要因と考えられます。</p>						---
		目標達成度	---				

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 確かな学力の育成

基本事項 02 心の教育の推進

基本事項 03 健康増進と体力向上の推進

基本事項 04 開かれた学校づくりの推進

基本事項 05 特別支援教育の充実

基本事項 06 教育環境の計画的整備の推進

基本事項04 開かれた学校づくりの推進

指標	学校評議員による学校評価の平均点数(5点満点)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
	【学校教育課】	点	4.4	4.3	4.3	4.5	☁ (横ばい)
評価	(状況)学校評議員による学校評価の平均点数は4.3点で、前年度と同数値であり、総合計画基準値(H28)と比較すると0.1点減少で、ほぼ横ばいです。しかし、コロナ禍の中、5点満点の評価を得た項目も多く、特に「安全・安心な教育環境」、「特別支援教育の充実」に対する評価では、半数以上の学校評議員が5点満点の評価をしています。 (原因)特別支援教育支援員の継続配置や新型コロナウイルス感染症対策等、取組の成果が学校評議員や地域の方々に伝わっているものと考えます。また、各学校が創意工夫を図り、学校だよりやWEBページ等で情報発信している成果もあると考えます。						☁ (横ばい)
		(点)					

基本事項05 特別支援教育の充実

指標	要支援児童・生徒に対する特別支援教育支援員の配置率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
	【学校教育課】	%	38.8	36.0	40.0	50.0	☀ (向上)
評価	(状況)要支援児童・生徒に対する特別支援教育支援員の配置率は40.0%で、前年度と比較すると4.0ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると1.2ポイント増加しており、順調です。 (原因)特別な支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあります。が、特別支援教育支援員の希望者も増加傾向にあるためです。						☀ (向上)
		(%)					

基本事項05 特別支援教育の充実

指標	個別の指導計画、支援計画に基づいて学んでいる児童・生徒の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
	【学校教育課】	%	83.8	92.2	91.8	100.0	☀ (向上)
評価	(状況)個別の指導計画、支援計画に基づいて学んでいる児童・生徒の割合は91.8%で、前年度と比較すると0.4ポイント低下していますが、総合計画基準値(H28)と比較すると8.0ポイント増加しており、順調です。 (原因)個別に支援を必要とする児童・生徒が年々増加している中で、特別支援コーディネーターを対象に、個別の指導計画、支援計画の作成法について、研修会を実施していることが大きな要因です。						☀ (向上)
		(%)					

基本事項06 教育環境の計画的整備の推進

指標	改修等により安全で適正な学校施設になった延べ件数(計画期間累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
	【教育総務課】	件	10	47	85	50	☀ (向上)
評価	(状況)改修等により安全で適正な学校施設になった延べ件数は85件で、前年度と比較すると38件増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると75件増加しており、順調です。 (原因)西袋第一小校舎の増築、阿武隈小校舎の大規模改修や老朽化した電気設備の修繕など、多くの改修工事を行うことができたためです。						☀ (向上)
		(件)					

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	確かな学力の育成
基本事項 02	心の教育の推進
基本事項 03	健康増進と体力向上の推進
基本事項 04	開かれた学校づくりの推進
基本事項 05	特別支援教育の充実
基本事項 06	教育環境の計画的整備の推進

基本事項06 教育環境の計画的整備の推進

指標	施設管理上の不具合における教育支障件数 【教育総務課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき 目標 達成度 (達成)																
		件	0	0	0	0																	
評価	<p>(状況) 施設管理上の不具合における教育支障件数は0件で、保守、維持管理と改修により安全な教育環境は保たれていますが、建築から年数を経過している施設も多く、また、狭あいな体育館などもあります。</p> <p>(原因) 修繕に関する学校からの報告のほかに、年1回実施している各校の営繕調査により施設の状況を把握し、改修工事を計画的に行ったことが成果につながっています。</p>	<p>(件)</p> <table border="1"> <caption>Graph Data</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>0</td></tr> <tr><td>H30</td><td>0</td></tr> <tr><td>R01</td><td>0</td></tr> <tr><td>R02</td><td>0</td></tr> <tr><td>R03</td><td>0</td></tr> <tr><td>R04</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					年度	件数	H28	0	H29	0	H30	0	R01	0	R02	0	R03	0	R04	0	(向上)
		年度	件数																				
H28	0																						
H29	0																						
H30	0																						
R01	0																						
R02	0																						
R03	0																						
R04	0																						
							(達成)																

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 03 生涯学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	生涯にわたり、様々な機会や場所で学習を行い、その成果を豊かな生活や地域社会に生かしています。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	25.2	-	22.1	→	
評価	（状況）生涯学習に取り組んでいる市民の割合は22.1%で、前回（H30）24.4%と比較し2.3ポイント減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると3.1ポイント減少しており、順調ではありません。 （原因）新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、施設の貸館等の休止や事業の規模縮小、中止など、市民が生涯学習事業に接する場（機会）の減少が影響しています。						目 標 達成度
指標	生涯学習の成果を地域や社会、家庭に生かしている市民の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	16.9	-	13.8	→	
評価	（状況）生涯学習の成果を地域や社会、家庭に生かしている市民の割合は13.8%で、前回（H30）15.4%と比較し1.6ポイント減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると3.1ポイント減少しており、順調ではありません。 （原因）新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、生涯学習事業や、学校支援活動などの規模縮小、中止など、地域や社会、家庭に生かせる学習の場（機会）の減少が影響しています。						目 標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 多様な学習や活動機会の充実

基本事項 02 家庭教育の向上と青少年健全育成

基本事項 03 学校教育と社会教育の連携・融合

基本事項 04 公民館機能の充実

基本事項 05 生涯学習施設環境の充実

基本事項01 多様な学習や活動機会の充実

指標	生涯学習機会に満足している市民の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	78.7	-	81.7	→	
評価	(状況) 生涯学習機会に満足している市民の割合は81.7%で、前回(H30) 81.4%と比較し0.3ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると3.0ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、生涯学習事業の規模縮小や中止があったものの、平成31年1月に新たな生涯学習機能を備えた市民交流センターが開館し、市民のニーズに沿った生涯学習の場(機会)や情報を提供していることが、成果向上に結びついたと考えられます。					目標 達成度	

基本事項01 多様な学習や活動機会の充実

指標	生涯学習の活動機会に関する情報提供の満足度	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	73.5	-	77.9	→	
評価	(状況) 生涯学習の活動機会に関する情報提供の満足度は77.9%で、前回(H30) 76.6%と比較し1.3ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると4.4ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因) 市広報紙や各種講座のお知らせ、ホームページ、SNS、ウルトラFMを活用した積極的な情報発信が、市民に浸透してきていることが、成果向上に結びついたと考えられます。					目標 達成度 ☀ (向上) ■ (高)	

基本事項02 家庭教育の向上と青少年健全育成

指標	基本的な生活習慣が身に付いている児童割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	73.2	88.2	-	80.0	
評価	(状況) 基本的な生活習慣が身に付いている児童割合は、指標の算定基礎となる「令和2年度全国学力・学習状況調査」が、新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響を考慮し、令和2年度の調査が見送られたため、実績値は未取得となっています。					目標 達成度	

基本事項02 家庭教育の向上と青少年健全育成

指標	基本的な生活習慣が身に付いている生徒割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【生涯学習スポーツ課】	%	80.2	78.8	-	85.0	
評価	(状況) 基本的な生活習慣が身に付いている生徒割合は、指標の算定基礎となる「令和2年度全国学力・学習状況調査」が、新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響を考慮し、令和2年度の調査が見送られたため、実績値は未取得となっています。					目標 達成度	

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 多様な学習や活動機会の充実

基本事項 02 家庭教育の向上と青少年健全育成

基本事項 03 学校教育と社会教育の連携・融合

基本事項 04 公民館機能の充実

基本事項 05 生涯学習施設環境の充実

基本事項03 学校教育と社会教育の連携・融合

指標	学社連携・融合事業実施件数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
		【生涯学習スポーツ課】	件	12	17	2	15
評価	<p>(状況) 学社連携・融合事業実施件数は2件で、前年度と比較し15件減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると10件減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、学社連携・融合実施事業の多くが中止となったことが影響しています。</p>					<p>---</p> 目標達成度 <p>---</p>	

基本事項03 学校教育と社会教育の連携・融合

指標	学校支援ボランティアとして活動した延べ回数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
		【生涯学習スポーツ課】	回	4,420	9,439	6,872	4,500
評価	<p>(状況) 学校支援ボランティアとして活動した延べ回数は6,872回で、前年度と比較し2,567回減少しましたが、総合計画基準値（H28）と比較すると2,452回増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 基準値（H28）に対し、新たに子どもの登下校に関する見守りや、特設活動の指導、支援活動を加えたことにより目標値を達成しましたが、前年度実績値に対して大幅に減少しているのは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、学校支援ボランティア活動の多くが中止となったことが影響しています。</p>					<p>---</p> 目標達成度 <p>---</p>	

基本事項04 公民館機能の充実

指標	公民館を利用している市民の割合（度合い）（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
		【生涯学習スポーツ課】	%	143.1	122.2	59.8	144.5
評価	<p>(状況) 公民館を利用している市民の割合（度合い）は59.8%で、前年度と比較し62.4ポイント減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると83.3ポイント減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、公民館の貸館等の休止や事業の規模縮小、中止により、地域住民が公民館を利用する場（機会）が減少したことが影響しています。</p>					<p>---</p> 目標達成度 <p>---</p>	

基本事項04 公民館機能の充実

指標	各公民館で実施した事業に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つぎ
		【生涯学習スポーツ課】	%	79.5	96.1	96.8	90.0
評価	<p>(状況) 各公民館で実施した事業に満足している市民の割合は96.8%で、前年度と比較し0.7ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると17.3ポイント増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 各公民館において講座ごとにアンケートを実施しており、参加者からの意見を踏まえながら、事業の検証、改善に努めた成果の表れと考えられます。</p>					<p>☀️ (向上)</p> 目標達成度 <p>🏰 (達成)</p>	

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 多様な学習や活動機会の充実

基本事項 02 家庭教育の向上と青少年健全育成

基本事項 03 学校教育と社会教育の連携・融合

基本事項 04 公民館機能の充実

基本事項 05 生涯学習施設環境の充実

基本事項04 公民館機能の充実

指標	この1年間で公民館を利用したことがある市民の割合（参考値） 【生涯学習スポーツ課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		%	37.4	-	27.2	→	
評価	<p>(状況) この1年間で公民館を利用したことがある市民の割合は27.2%で、前回(H30) 35.1%と比較し7.9ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると10.2ポイント減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、公民館の貸館等の休止や事業の規模縮小、中止により公民館を地域住民が利用する場(機会)が減少したことが影響しています。</p>						目標 達成度
		---	---				

基本事項05 生涯学習施設環境の充実

指標	生涯学習施設（公民館・図書館等）の充足度に満足している市民の割合（参考値） 【生涯学習スポーツ課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		%	73.3	-	83.8	→	
評価	<p>(状況) 生涯学習施設（公民館・図書館等）の充足度に満足している市民の割合は83.8%で、前回(H30) 86.2%と比較し2.4ポイント減少しましたが、総合計画基準値(H28)と比較すると10.5ポイント増加しており、順調に推移しています。</p> <p>(原因) 基準値(H28)に対し、平成31年1月に生涯学習機能を備えた市民交流センターが開館し、市民のニーズに沿った生涯学習を提供していることが成果向上の要因と考えられます。しかし、前回調査からの減少は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、生涯学習施設の貸館等の休止や開館時間の短縮などが影響していると考えられます。</p>						目標 達成度
		---	---				

基本事項05 生涯学習施設環境の充実

指標	生涯学習施設の事故・トラブル件数 【生涯学習スポーツ課】	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		件	1	0	0	0	
評価	<p>(状況) 生涯学習施設の事故・トラブル件数は0件です。</p> <p>(原因) 利用者が安全・安心に利用できるよう常に施設の適切な維持管理、運営に努めていることが無事故等につながっています。</p>						(向上) 目標 達成度 (達成)
		---	---				

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 04 生涯スポーツの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	いつでもどこでも気軽にスポーツ活動に親しみ取り組んでいます。

施策の成果状況と評価

指標	スポーツに親しんでいる市民の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【生涯学習スポーツ課】	%	56.6	-	55.6	
評価	<p>(状況) スポーツに親しんでいる市民の割合は55.6%で、前回(H30)56.2%と比較し0.6ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると1.0ポイント減少しましたが、市民アンケートにより取得した指標であり、統計誤差の範囲であることから横ばい(現状維持)です。</p> <p>(原因) 指標の向上に至らなかったのは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、体育施設の休館やスポーツ大会、教室の規模縮小や中止、外出の自粛など、市民がスポーツに親しむ場(機会)の減少が影響しています。</p>						目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 スポーツ活動の推進

基本事項 02 スポーツ施設環境の充実

基本事項01 スポーツ活動の推進

指標	スポーツ大会・教室の参加者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【生涯学習スポーツ課】	人	38,598	18,497	5,615	41,800
評価	<p>(状況) スポーツ大会・教室の参加者数は5,615人で、前年度と比較し12,882人減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると32,983人減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 令和元年台風第19号災害復旧工事のため、須賀川アリーナを約半年間休館したことや新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、円谷幸吉メモリアルマラソン大会をはじめとした各種事業の中止、また、外出の自粛などが影響しています。</p>					目標 達成度 ---	

基本事項01 スポーツ活動の推進

指標	スポーツやレクリエーションに参加する機会が充実していると思う市民の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【生涯学習スポーツ課】	%	77.0	-	79.3	→
評価	<p>(状況) スポーツやレクリエーションに参加する機会が充実していると思う市民の割合は79.3%で、前回(H30)81.2%と比較し1.9ポイント減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると2.3ポイント増加しましたが、市民アンケートにより取得した指標であり、統計誤差の範囲であることから横ばい(現状維持)です。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、円谷幸吉メモリアルマラソン大会をはじめとした各種事業の中止や、令和元年台風第19号災害復旧工事による須賀川アリーナの休館などにより、スポーツやレクリエーションに接する機会の減少が影響しています。</p>					目標 達成度 ---	

基本事項02 スポーツ施設環境の充実

指標	スポーツ施設の年間利用者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【生涯学習スポーツ課】	人	554,897	378,707	249,415	601,500
評価	<p>(状況) スポーツ施設の年間利用者数は249,415人で、前年度と比較し129,292人減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると305,482人減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 令和元年台風第19号災害復旧工事のため須賀川アリーナを約半年間休館したことや、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、スポーツ施設の休館、事業の中止や外出の自粛などが影響しています。</p>					目標 達成度 ---	

基本事項02 スポーツ施設環境の充実

指標	スポーツ施設維持管理上の事故・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【生涯学習スポーツ課】	件	0	0	0	0
評価	<p>(状況) スポーツ施設維持管理上の事故・トラブル件数は0件です。</p> <p>(原因) 利用者が安全・安心に利用できるように常に施設の適切な維持管理、運営に努めていることが事故・トラブルの防止につながっています。</p>					(向上) 目標 達成度 (達成)	

政策 01 いきいきと人が輝くまちづくり

施策 05 文化芸術の振興と継承

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	文化芸術を通じ、地元への愛着や誇りが育まれています。

施策の成果状況と評価

指標	ふるさと須賀川の文化や歴史に誇りや愛着を感じている市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき																
		【文化振興課】	%	69.9	-	68.0	→	🔄															
評価	<p>(状況) ふるさと須賀川の文化や歴史に誇りや愛着を感じている市民の割合は68.0%で、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.9ポイント減少しましたが、前回 (H30) 67.7%と比較すると0.3ポイント増加しており、統計誤差の範囲内であり、横ばい状態です。</p> <p>(原因) 市民アンケートの結果では、「文化芸術を鑑賞する機会について」、「特撮文化について」の各項目において総合計画基準値 (H28) と比較し増加する一方で、「文化財への親しみについて」は減少しており、増加と減少の項目がそれぞれあることが、横ばいの要因と考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>指標の推移 (実績値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>69.9</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>67.7</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>68.0</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>68.0</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>68.0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	割合 (%)	H28	69.9	H29	-	H30	67.7	R01	68.0	R02	68.0	R03	-	R04	68.0	(横ばい) 目標達成度 ■■■ (低)
		年度	割合 (%)																				
H28	69.9																						
H29	-																						
H30	67.7																						
R01	68.0																						
R02	68.0																						
R03	-																						
R04	68.0																						

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進
基本事項 02	特撮文化拠点都市の構築・発信
基本事項 03	文化芸能の継承
基本事項 04	文化財の保護と活用の推進
基本事項 05	ふるさと学習の推進

基本事項01 文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進

指標	文化芸術鑑賞の機会に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	%	70.8	-	71.5	→	☁ (横ばい)
評価	(状況)文化芸術鑑賞の機会に満足している市民の割合は71.5%で、前回(H30)76.2%と比較すると4.7ポイント減少していますが、総合計画基準値(H28)と比較すると0.7ポイント増加しており、統計誤差の範囲内であり、横ばい状態です。 (原因)文化センター耐震補強工事に伴い、文化芸術鑑賞の機会が少なかったことが原因であると考えられ、リニューアルオープン後は増加に転じるものと推測されます。						目標達成度
							■ (低)

基本事項01 文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進

指標	文化芸術を鑑賞できる施設(文化センター、博物館)の入場者数合計(参考値)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	人	63,262	46,056	5,997	67,000	---
評価	(状況)文化芸術を鑑賞できる施設(文化センター、博物館)の入場者数合計は5,997人で、前年度と比較すると40,059人減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると57,265人減少しており、順調ではありません。 (原因)文化センターが耐震補強工事により令和元年7月から休館していること、また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外出機会が減少していることなどが原因と考えられます。						目標達成度

基本事項02 特撮文化拠点都市の構築・発信

指標	特撮文化が須賀川市の特長だと思ふ市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	%	84.2	-	87.5	→	☀ (向上)
評価	(状況)特撮文化が須賀川市の特長だと思ふ市民の割合は87.5%で、前回(H30)87.5%と比較すると横ばいですが、総合計画基準値(H28)と比較すると3.3ポイント増加しています。 (原因)ウルトラマン関連事業、円谷英二ミュージアムの定着や須賀川特撮アーカイブセンターの開館によって、特撮文化が市民にとって、より身近になったことが要因と推測されます。						目標達成度
							■ (中)

基本事項03 文化芸能の継承

指標	文化芸能の活動をしている団体に所属している市民数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【文化振興課】	人	4,779	3,646	3,384	5,000	☔ (低下)
評価	(状況)文化芸能の活動をしている団体に所属している市民数は3,384人で、前年度との比較では262人の減少、総合計画基準値(H28)との比較では1,395人減少しており、順調ではありません。 (原因)文化芸能団体数は163団体で、平成28年度の197団体から34団体減少しており、各団体の会員の高齢化や新規会員数が減少していることが要因と推測されます。						目標達成度
							■ (低)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 文化芸術鑑賞機会の充実と交流の推進

基本事項 02 特撮文化拠点都市の構築・発信

基本事項 03 文化芸能の継承

基本事項 04 文化財の保護と活用の推進

基本事項 05 ふるさと学習の推進

基本事項04 文化財の保護と活用の推進

指標	文化財に親しみを感じている市民の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		【文化振興課】	%	70.8	-	67.3	→
評価	<p>(状況)文化財に親しみを感じている市民の割合は67.3%で、前回(H30) 74.2%と比較して6.9ポイント低下しており、総合計画基準値(H28)の70.8%と比較して3.5ポイント低下しています。</p> <p>(原因)新型コロナウイルス感染症の影響と新しい生活様式により、講座や博物館等に足を運ぶ機会が減少し、文化財に触れる機会が減少したことが要因と推測されます。</p>						---
		目標達成度	---				

基本事項04 文化財の保護と活用の推進

指標	指定文化財数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		【文化振興課】	件	104	109	103	114
評価	<p>(状況)公開・活用された指定文化財数は103件で、前年度と比較すると6件減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると1件減少していますが、指定文化財の公開・活用は概ね順調に図られています。</p> <p>(原因)減少の原因は、令和2年度は博物館における美術品の展示や通常展示していない考古資料の展示等、未指定の文化財等の展示に注力した結果、指定文化財の公開数が減少したことによるものです。</p>						(横ばい)
		目標達成度	(低)				

基本事項05 ふるさと学習の推進

指標	郷土の歴史学習を行っている小・中学校の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R04)	指標の つごき
		【文化振興課】	%	100.0	100.0	100.0	100.0
評価	<p>(状況)郷土の歴史学習を行っている小・中学校の割合は100.0%で、目標値を達成しています。</p> <p>(原因)市内の全小学校で、副読本「いわせ」を活用した学習が実施されるなど、地域の理解を深めるふるさと学習が順調に進められているためです。</p>						(向上)
		目標達成度	(達成)				